

環境経営レポート

[対象期間：2024年1月～2024年12月]



2025年2月1日



井手運送有限公司

本 社

轟木営業所

鳥栖営業所

基山営業所

1 組織の概要	1
2 組織図及び役割分担表	2
3 環境経営方針	3
4 環境経営目標(全社)	4
5 環境経営目標とその実績(全社)	5
6 環境経営目標とその実績(鳥栖営業所)	6
7 環境経営目標とその実績(轟木営業所・村田車庫)	7
8 環境経営目標とその実績(基山営業所)	8
9 環境経営目標とその実績(本社)	9
10 環境経営計画(次年度の取り組み内容も含む)	10-11
11 環境関連法規等の遵守状況確認及び評価結果並びに違反・訴訟の有無	12
12 代表者による全体評価と見直しの結果及び指示	13

1) 事業者名

井手運送有限会社
代表取締役 井手郁夫

2) 本社及び営業所と所在地

本社 福岡県小郡市小板井309番地1

3) 認証登録範囲

本社 福岡県小郡市小板井309番地1

鳥栖営業所 佐賀県鳥栖市原町999番地1
(桜町事業所、第6・7・8・原町南倉庫、第1・2定温倉庫含む)

基山営業所 佐賀県三養基郡基山町大字園部 2459番地11
(基山倉庫含む)

轟木営業所 佐賀県鳥栖市轟木町四本松1825番地2
(轟木倉庫含む)

村田車庫 佐賀県鳥栖市村田町986番地37

4) 環境管理責任者及び担当者の連絡先

環境管理責任者: 谷誠一郎 庶務課長
事務局 (窓口): 谷誠一郎
連絡先電話 0942-72-3171 FAX0942-72-3173

5) 事業内容

一般貨物自動車運送業・貨物取扱業・倉庫業
資本金 6600万円

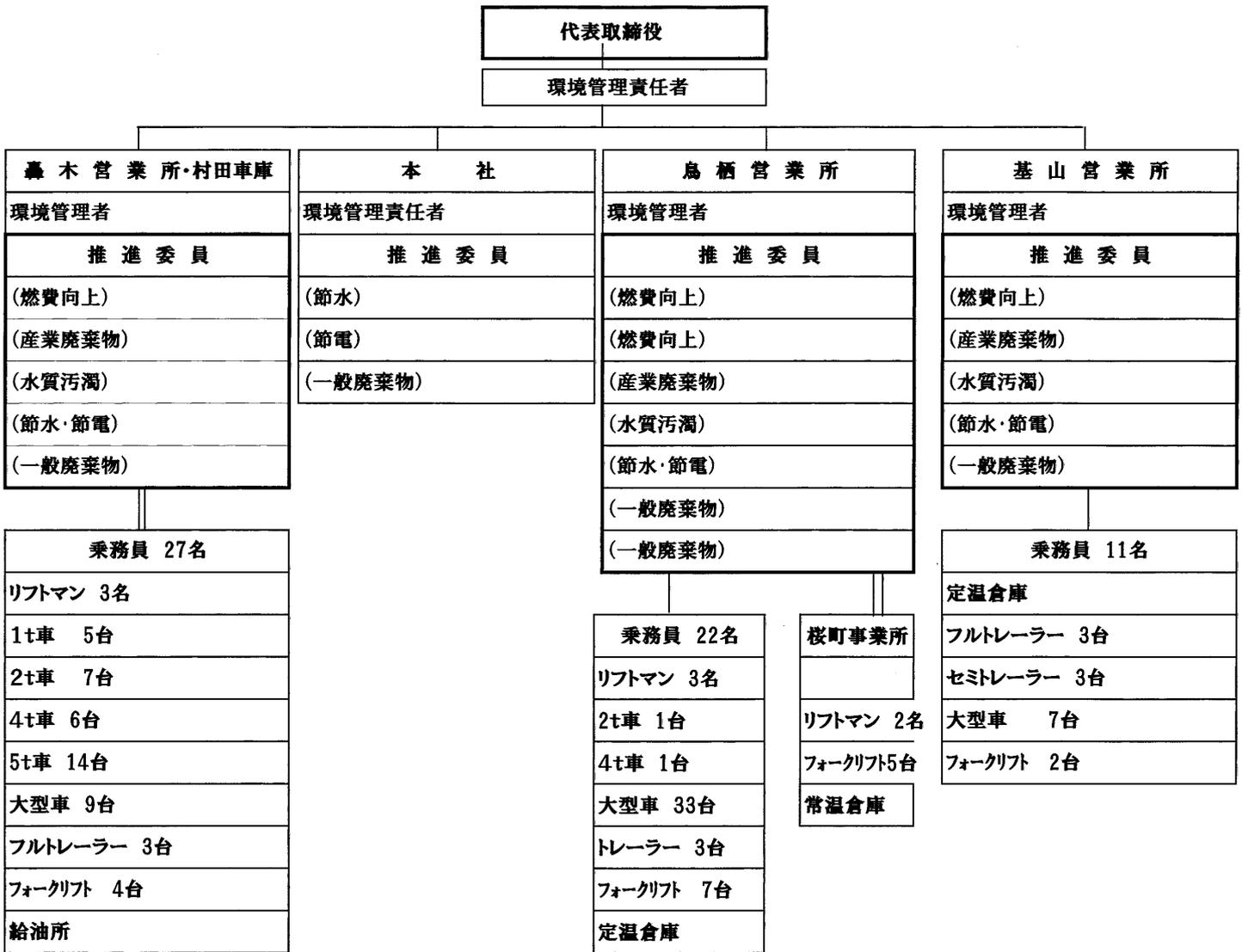
6) 事業規模

活動規模	単位	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
売上高	百万円	1,902	1,854	1,816	1,846	1,727
従業員	人	124	114	110	109	99
床面積	m ²	14,241	14,241	*16661	*15118	*15118
(トラック台数)	(台)	109	109	108	99	96
対象事業所		全社	全社	全社	全社	全社

<*面積: 駐車場込み>

7) 認証登録の対象範囲

全組織・全活動



EA21 役割分担表	
担当職名(所属・役職)	役割・責任・権限
代表者(本社・代表取締役)	全体の統括、環境方針の設定・変更、環境経営システムの構築と運用、全体の評価と見直し
環境管理責任者(本社・課長)	全体の把握、環境経営システム構築・運用の提案・助言、環境管理者との連携・協力
環境管理者(基山営業所・所長)	営業所の統括、環境管理責任者と連携・協力、又各推進委員への指導・助言をする
環境管理者(鳥栖営業所・統括部長)	営業所の統括、環境管理責任者と連携・協力、又各推進委員への指導・助言をする
環境管理者(轟木営業所・所長)	営業所の統括、環境管理責任者と連携・協力、又各推進委員への指導・助言をする
推進委員(各営業所)	具体的な担当分野の管理をし、各環境管理者へ報告及び相談し、問題・改善を図る/月次レポートを作成し、本社へ報告、全社的には半年に1回そのレポートを元に状況分析・対策協議・改善を行う

環境経営理念

我々人類の将来にとって大きな脅威となっている環境問題に企業として取り組み、持続可能な安心で安全な社会に貢献する。

環境経営方針

環境問題への取組は継続的な企業活動の必要条件である。経済活動を維持発展させるためには社員一人ひとりが日々の業務で環境に与える影響を意識し、二酸化炭素削減・節水・廃棄物削減・緑化の維持管理など環境負荷を軽減する義務に取り組む。

また、環境問題に取り組むことが経営に好ましい影響を及ぼすことを認識してもらい、物流企業として地域環境の保全に寄与、社会的責任を果たす。

行動指針

- 1 環境負荷軽減活動において組織図及び役割分担による積極的な推進
- 2 急速に悪化している環境の啓蒙と環境経営方針の周知
- 3 環境負荷(二酸化炭素・水・廃棄物)の削減
- 4 交通事故・労働災害を撲滅し環境負荷を発生させない
- 5 環境負荷の低減に配慮した物品、再生可能エネルギーの積極的導入
- 6 環境関連法規の理解と遵守

制定日:2006年4月1日

改定日:2021年3月1日

改定日:2024年1月31日

井手運送有限公司

代表取締役 井手 郁夫



3.環境経営目標(全社)

環境目標	単位	基準年実績 (2022)	2024年目標 値	2023年目 標基準年 度削減率	2024年目 標基準年 度削減率	2025年目 標基準年 度削減率
1. CO2排出量削減	kg-CO2	3,494,554	3,390,743	-2.5%	-3.0%	-3.5%
(1) 購入電力						
事務所	電灯 kWh	44,404	43,072	-2.5%	-3.0%	-3.5%
	電力 kWh	31,660	30,711	-2.5%	-3.0%	-3.5%
倉庫	電灯 kWh	59,557	57,770	-2.5%	-3.0%	-3.5%
	電力 kWh	189,764	184,071	-2.5%	-3.0%	-3.5%
	合計 kWh	325,385	315,623	-2.5%	-3.0%	-3.5%
(2) 軽油使用量						
トラック	kL	1,255	1,218	-2.5%	-3.0%	-3.5%
リフト	kL	22	22	-2.5%	-3.0%	-3.5%
	合計 kL	1,277	1,239	-2.5%	-3.0%	-3.5%
(3) LPG使用量						
事務所	m ³	291	283	-2.5%	-3.0%	-3.5%
リフト	m ³	30	29	-2.5%	-3.0%	-3.5%
	合計 m ³	321	312	-2.5%	-3.0%	-3.5%
2. 燃費向上						
(1) トレーラー	km/L	2.50	2.60	3.5%	4.0%	4.5%
(2) 大型車	km/L	3.46	3.60	3.5%	4.0%	4.5%
(3) 中型車	km/L	5.17	5.38	3.5%	4.0%	4.5%
(4) 準中型	km/L	10.32	10.73	3.5%	4.0%	4.5%
(5) 普通車	km/L	11.35	11.80	3.5%	4.0%	4.5%
3. 廃棄物削減						
(1) タイヤ使用	本/10万km	7.19	6.91	-3.5%	-4.0%	-4.5%
(2) 紙の使用	kg	1,779	1,708	-3.5%	-4.0%	-4.5%
(3) ゴミ排出	kg	1,229	1,179	-3.5%	-4.0%	-4.5%
(4) タイヤ廃棄	kg					
4. 水使用量削減						
(1) 上水道	m ³	735	706	-3.5%	-4.0%	-4.5%
	合計 m ³	735	706	-3.5%	-4.0%	-4.5%
5. 環境負荷の低減						
(1) 事故	回	19	10	-50.0%	-50.0%	-50.0%
(2) 車両修繕費	千円/千km	11,733	10,737	-8.0%	-8.5%	-9.0%
(3) コピー枚数	枚	314,875	297,557	-5.0%	-5.5%	-6.0%
6. 環境に配慮した活動						
(1) 山林保護	回	0	4		4	4
(2) 清掃活動	回	2	4		4	4
特記事項(各排出係数)						
(1) 購入電力	0.613 kg-CO2/kWh					
(2) 軽油使用量	2.580 kg-CO2/L					
(3) LPG使用量	2.070 kg-CO2/m3					

4.環境経営目標とその実績(全社)

p-5

環境目標	単位	2024年目標 ①	2024年実績 ②	実績 CO2 率	年目標と実績の比較		
					削減量 (①-②)	対目標比 (②/①%)	達成 状況
1. CO2排出量削減	kg-CO2	3,390,743	2,833,599	100%	557,143	84%	○
(1) 購入電力							
事務所	電灯 kWh	43,072	43,810	1%	-738	102%	×
	電力 kWh	30,711	28,344	1%	2,367	92%	○
倉庫	電灯 kWh	57,770	65,819	1%	-8,049	114%	×
	電力 kWh	184,071	171,123	4%	12,948	93%	○
合計	kWh	315,623	308,925	7%	6,698	98%	○
(2) 軽油使用量							
トラック	kL	1,218	1,006	92%	212	83%	○
リフト	kL	22	19	2%	3	85%	○
合計	kL	1,239	1,025	93%	214	83%	○
(3) LPG使用量							
事務所	m ³	283	325.1	0%	-42	115%	×
リフト	m ³	29	22	0%	8	74%	○
合計	m ³	312	347	0%	-35	111%	×
2. 燃費向上							
(1) トレーラー	km/L	2.60	2.72		-0.12	104%	○
(2) 大型車	km/L	3.60	3.37		0.23	94%	×
(3) 中型車	km/L	5.38	5.06		0.32	94%	×
(4) 準中型	km/L	10.73	10.00		0.73	93%	×
(5) 普通車	km/L	11.80	11.10		0.70	94%	×
3. 廃棄物削減							
(1) タイヤ使用	本/10万km	6.91	6.83		0.1	99%	○
(2) 紙の使用	kg	1,708	1,643		65	96%	○
(3) ゴミ排出	kg	1,179	1,216		-37	103%	×
(4) タイヤ廃棄	kg		8,160.0				
4. 水使用量削減					0		
(1) 上下水道	m ³	706	740		-34	105%	×
合計	m ³	706	740		-34	105%	×
5. 環境負荷の低減							
(1) 事故	回	10	25		-15	250%	×
(2) 車両修繕費	千円/千km	10,737	12,761		-2,024	119%	×
(3) コピー枚数		297,557	322,821		-25,264	108%	×
6. 環境に配慮した活動							
(1) 山林保護	回	4	0		4	0%	
(2) 清掃活動	回	4	0		4	0%	
特記事項(各排出係数)							
(1) 購入電力	0.613 kg-CO2/kWh	実績CO2排出率		鳥栖	39%		
(2) 軽油使用量	2.580 kg-CO2/L			轟木	30%		
(3) LPG使用量	2.070 kg-CO2/m3			基山	31%		
				本社	0%		

4.1.環境経営目標とその実績(鳥栖営業所)

p-6

環境目標	単位	2024年目標 ①	2024年実績 ②	実績 CO2 率	年目標と実績の比較			評価 番号
					削減量 (①-②)	対目標比 (②/①%)	達成 状況	
1. CO2排出量削減	kg-CO2	1,323,128	1,118,432	100%	204,696	85%	○	
(1) 購入電力								
事務所	電灯 kWh	12,122	12,262	1%	-140	101%	×	
	電力 kWh	10,282	9,664	1%	618	94%	○	
倉庫	電灯 kWh	33,656	33,855	2%	-199	101%	○	
	電力 kWh	115,724	134,435	7%	-18,711	116%	×	①
	合計 kWh	171,784	190,216	10%	-18,432	111%	×	
(2) 軽油使用量								
トラック	kL	472	387	89%	85	82%	○	②
リフト	kL	1	1	0%	-0	125%	×	
	合計 kL	472	388	90%	84	82%	○	
(3) LPG使用量								
事務所	m ³	2	11	0%	-9	667%	×	
リフト	m ³	29	22	0%	8	74%	○	
	合計 m ³	31	33	0%	-2	105%	×	
2. 燃費向上								
(1) トレーラー	km/L	2.25	2.53		-0.28	112%	×	
(2) 大型車	km/L	3.52	3.39		0.13	96%	○	
(3) 中型車	km/L	5.34	5.02		0.32	94%	○	
(4) 準中型	km/L							
(5) 普通車	km/L							
3. 廃棄物削減								
(1) タイヤ使用	本/千km	7.08	11.75		-4.7	166%	×	⑤
(2) 紙の使用	kg	813.6	920.0		-106.4	113%	×	③
(3) ゴミ排出	kg	184.3	180.0		4.3	98%	○	
(4) タイヤ廃棄	kg		8,160.0					
4. 水使用量削減								
(1) 上下水道	m ³	299	318		-19	106%	×	
	合計 m ³	299	318		-19	106%	×	
5. 環境負荷の低減								
(1) 事故	回	4	11		-7	275%	×	
(2) 車両修繕費	千円/千km	9,050	12,027		-2,977	133%	×	④
(3) コピー枚数	枚	166,217	195,851		-29,634	118%	×	③
		0						
6. 環境に配慮した活動								
(1) 山林保護	回	1	0		1	0%		
(2) 清掃活動	回	1	0		1	0%		
結果の評価								
①取扱量増加により定温倉庫扉の開閉増加								
②仕事量・輸送量減により軽油使用量減少								
③取引先におけるFAXによる指示書の増加								
④車両修理代全般(主に工賃・部品)の値上げ								
⑤スタッドレスタイヤへの交換、工賃・タイヤ費UP								

4.2.環境経営目標とその実績(轟木営業所・村田車庫)

p-7

環境目標	単位	2024年目標 ①	2024年実績 ②	実績 CO2 率	年目標と実績の比較			評価 番号
					削減量 (①-②)	対目標比 (②/①%)	達成 状況	
1. CO2排出量削減	kg-CO2	1,055,717	836,948	100%	218,769	79%	○	
(1) 購入電力								
事務所	電灯 kWh	8,449	8,649	1%	-200	102%	×	
	電力 kWh	10,619	9,921	1%	698	93%	○	
倉庫	電灯 kWh	23,613	31,419	2%	-7,806	133%	×	
	電力 kWh	3,864	5,756	0%	-1,892	149%	×	①
	合計 kWh	46,544	55,745	4%	-9,201	120%	×	
(2) 軽油使用量								
トラック	kL	377	294	90%	83	78%	○	②
リフト	kL	21	17	4%	4	83%	○	②
	合計 kL	398	311	96%	87	78%	○	
(3) LPG使用量								
事務所	m ³	167	189	0%	-22	113%	×	
	合計 m ³	167	189	0%	-22	113%	×	
2. 燃費向上								
(1) トレーラー	km/L	3.18	3.30		-0.12	104%	×	
(2) 大型車	km/L	3.62	3.31		0.31	91%	○	
(3) 中型車	km/L	5.42	5.10		0.32	94%	○	
(4) 準中型	km/L	10.73	10.00		0.73	93%	○	
(5) 普通車	km/L	11.80	11.10		0.70	94%	○	
3. 廃棄物削減								
(1) タイヤ使用	本/千km	4.20	2.68		1.5	64%	○	②
(2) 紙の使用	kg	384.0	325.0		59.0	85%	○	②
(3) ゴミ排出	kg	200.2	169.0		31.2	84%	○	②
4. 水使用量削減								
(1) 上下水道	m ³	223	222		1	100%	○	
	合計 m ³	223	222		1	100%	○	
5. 環境負荷の低減								
(1) 事故	回	5	9		-4	180%	×	
(2) 車両修繕費	千円/千km	6,560	11,096		-4,536	169%	×	③
(3) コピー枚数	枚	72,143	65,874		6,269	91%	○	
		0						
6. 環境に配慮した活動								
(1) 山林保護	回	1	0		1	0%		
(2) 清掃活動	回	1	1		1	100%		
結果の評価								
①室内温度を下げるため換気扇を長時間使用								
②輸送量減少に伴い、営業活動減少による使用量の減少								
③車両修理代の値上げ、修理代増加								

4.3.環境経営目標とその実績(基山営業所)

環境目標	単位	2024年目標 ①	2024年実績 ②	実績 CO2 率	年目標と実績の比較			評価 番号
					削減量 (①-②)	対目標比 (②/①%)	達成 状況	
1. CO2排出量削減	kg-CO2	999,621	867,470	100%	132,152	87%	○	
(1) 購入電力								
事務所	電灯 kWh	11,508	12,917	1%	-1,409	112%	×	
	電力 kWh	776	1,205	0%	-429	155%	×	
倉庫	電灯 kWh	501	545	0%	-44	109%	×	
	電力 kWh	64,483	30,932	2%	33,551	48%	○	①
	合計 kWh	77,268	45,599	3%	31,669	59%	○	
(2) 軽油使用量								
トラック	kL	369	325	97%	44	88%	○	②
	合計 kL	369	325	97%	44	88%	○	
(3) LPG使用量								
事務所	m ³	114	125.1	0%	-11	110%	×	
	合計 m ³	114	125.1	0%	-11	110%	×	
2. 燃費向上								
(1) トレーラー	km/L	2.38	2.33		0.05	98%	×	
(2) 大型車	km/L	3.66	3.40		0.26	93%	×	
(3) 中型車	km/L							
(4) 準中型	km/L							
(5) 普通車	km/L							
3. 廃棄物削減								
(1) タイヤ使用	本/千km	9.45	7.72		1.7	82%	○	③
(2) 紙の使用	kg	297.6	210.0		87.6	71%	○	
(3) ゴミ排出	kg	293.8	342.0		-48.2	116%	×	
4. 水使用量削減								
(1) 上下水道	m ³	90	106		-16	118%	×	
	合計 m ³	90	106		-16	118%	×	
5. 環境負荷の低減								
(1) 事故	回	1	5		-4	500%	×	
(2) 車両修繕費	千円/千km	16,600	12,723		3,877	77%	○	④
(3) コピー枚数	枚	32,826	31,816		1,010	97%	○	
		0						
6. 環境に配慮した活動								
(1) 山林保護	回	1	0		1	0%		
(2) 清掃活動	回	1	0		1	0%		

結果の評価

- ① 入庫量減少による定温性能の効率UPと入出庫回数減による影響により減少
- ② 輸送量減により軽油使用量減少
- ③ スタッドレスタイヤへの交換台数減少
- ④ 修理契約の変更(リース契約から発生契約へ)、古い車両の廃車

4.4.環境経営目標とその実績(本社)

p-9

環境目標	単位	2024年目標 ①	2024年実績 ②	実績 CO2 率	年目標と実績の比較			評価 番号
					削減量 (①-②)	対目標比 (②/①%)	達成 状況	
1. CO2排出量削減	kg-CO2	12,277	10,750	100%	1,527	88%	○	
(1) 購入電力								
事務所	電灯 kWh	10,993	9,982	57%	1,011	91%	○	
	電力 kWh	9,034	7,554	43%	1,480	84%	○	①
倉庫	電灯 kWh							
	電力 kWh							
	合計 kWh	20,027	17,536	100%	2,491	88%	○	
(2) 軽油使用量								
トラック	kL	-						
リフト	kL	-						
	合計 kL							
(3) LPG使用量								
事務所	m ³	-						
リフト	m ³	-						
	合計 m ³							
2. 燃費向上								
(1) トレーラー	km/L	-						
(2) 大型車	km/L	-						
(3) 中型車	km/L	-						
(4) 準中型	km/L	-						
(5) 普通車	km/L	-						
3. 廃棄物削減								
(1) タイヤ使用	本/千km							
(2) 紙の使用	kg	212.4	187.5		24.9	88%	○	
(3) ゴミ排出	kg	501.1	525.0		-23.9	105%	×	②・③
4. 水使用量削減								
(1) 上下水道	m ³	94	94		0	100%	○	
	合計 m ³	94	94		0	100%	○	
5. 環境負荷の低減								
(1) 事故	回	0						
(2) 車両修繕費	千円/千km	0						
(3) コピー枚数	枚	26,371	29,280		-2,909	111%	×	
		0						
6. 環境に配慮した活動								
(1) 山林保護	回	1	0		1	0%		
(2) 清掃活動	回	1	0		1	0%		
結果の評価								
① コロナ禍の沈静化により、換気回数が減少しエアコン効率が向上								
② 書庫・書類の整理による廃棄分の増加								
③ プリンター出力による増加								

テーマ	2025年具体的施策と(担当推進委員)	鳥栖営業所	轟木営業所	基山営業所	本社
1・CO2排出量削減					
(1)購入電力	(節水・節電担当)				
	・節電に対する意識				
	節電の掲示	○	○	○	○
	休憩時間の消灯	○	○	○	○
	使用しない部屋の消灯	○	○	○	○
	気温・気候に応じたエアコンの使用	○	○	○	○
	冷気が逃げない断熱ドア開閉の心がけ	○		○	
	・設備導入				
	事務所照明LED化			○	
	サーキュレーター等での室温調整	○	○	○	○
	・設備点検				
	エアコンのフィルターの定期的な清掃	○	○	○	○
	冷却機のフィルター点検・定期清掃	○		○	
	エアコン室外機の「簡易点検」の3ヶ月毎の実施とその記録	○	○	○	○
(2)軽油使用量	(燃費向上担当)				
	・エコドライブ				
	急発進・急加速や空ぶかしの排除の励行	○	○	○	
	熱中症に配慮したアイドリングストップの励行	○	○	○	
	エコドライブの講習	○	○	○	
	各車両の燃費掲示、燃費向上の啓蒙	○	○	○	
	・効率的な運行計画				
	配車計画の充実	○	○	○	
(3)LPG使用量	(燃費向上担当)				
	・リフト				
	リフト作業中の無駄な空吹き禁止	○			
	電気リフト化の検討	○		○	
	・事務所				
	ガスからIHへの変更		○		
2.廃棄物削減					
(1)タイヤ	(燃費向上担当)				
	リトレッド(再生)タイヤの使用	○	○	○	
	空気圧の点検	○	○	○	
	スタッドレスタイヤへの適切な組換え	○	○	○	
	タイヤローテーションの実施	○	○	○	
(2)紙の使用	(一般廃棄物担当)				
	帳票など紙類の削減についての見直し	○	○	○	○
	両面コピーの利用	○	○	○	○
	裏紙使用	○	○	○	○
(3)ゴミ排出	(一般廃棄物及び産業廃棄物担当)				
	分別回収ボックスの適正配置などにより、ごみの分別を徹底	○	○	○	○

テーマ	2025年具体的施策と(担当推進委員)	鳥栖営業所	轟木営業所	基山営業所	本社
3.水使用量削減	(節水・節電担当)				p-11
	節水の表示	○	○	○	○
	洗車中の放水の禁止、バケツの使用	○	○	○	
	高圧洗浄機使用の奨励	○	○	○	
4.環境負荷の低減	(所長ほかスタッフ全員担当)				
(1)事故					
	新入社員教育の実施	○	○	○	
	点呼時の注意喚起	○	○	○	
	適性診断の受診	○	○	○	
	安全講習会の実施	○	○	○	
(2)車両修繕費					
	定期点検の確実な実施による故障未然防止	○	○	○	
	エアエレメント、オイルエレメント、エンジンオイル定期交換	○	○	○	
	リサイクル部品の使用	○	○	○	
(3)コピー枚数					
	複数ページを集約	○	○	○	○
	電子化での保存	○	○	○	○
	コピー、プリンター印刷前の確認	○	○	○	○
5.環境に配慮した活動	(所長ほかスタッフ全員担当)				
(1)山林保護					
	牛頸山維持管理により環境に対する意識高揚 (J-クレジット制度の創出者としての森林管理)				
(2)清掃活動					
	3S(整理・整頓・清掃)活動の実施	○	○	○	○
	給油スタンド油水分離槽の清掃		○		

作成日:2005.6.29
 更新:2016.12.23
 更新:2017.12.23
 最終更新:2024.12.20

法規、条例、規制	適用施設、設備等	法規等の要求事項			備考	定期評価及び遵守状況	
		届出書名 届出機関	適用条例	適用内容又は規制基準値		良否	確認印
消防法	自家用給油取扱所 (第4類 第2石油類 軽油) (最大容量 20,000L)	鳥栖消防署	法10条～16条 法17条	<ul style="list-style-type: none"> ・消火器10型 3本 ・油分離槽設置 ・毎年気密検査実施 ・防火地域別一指定なし ・用途地域別一準工業地域 	鳥栖消防署立入検査一5年毎 危険物取扱者(乙種4類) 井手伴二 鳥栖営業所給油所廃止 2015 11月	良	2024年 12月20日 
廃棄物	産業廃棄物 1. 廃油 2. 金属類	未回収時 佐賀県知事	産業廃棄物管理票交付 (マニフェスト票) 法12条3の1、5、7 規則8条の20、21、26、 28、29	<ul style="list-style-type: none"> ・記載事項:廃棄物の種類、荷姿、 最終処分を行う所在地等 ・交付から90日以内(運搬、処理処 分)及び180日以内(最終処分)に 管理票の写しが未返却の場合、 照合確認とともに知事に届ける ・管理票写しの保管:5年間保存 	<ul style="list-style-type: none"> ・A、B2、D、E票の返却 ・期間を過ぎて から30日以内 に報告 	良	2024年 12月20日 
			委託契約基準 法12条3、4、5項 令6条の2、規則8条4、 4の2、4の3	<ul style="list-style-type: none"> ・収集運搬業者及び処分業者との委託契約 ・委託契約書には許可書の写し添付 ・委託契約書の保管:5年間保管 			
水質汚濁防止法	自家用給油取扱所	届出	貯油設備等の破損で、油を含む水が公共水域に排出又は地下浸透した場合、応急 処置を講じ速やかに届ける		鳥栖市回収 週2回(火、金)	良	2024年 12月20日 
道路運送車両法	定期点検整備		第48条	<ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月点検実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・点検整備記録簿 	良	2024年 12月20日 
	点検整備記録簿		第49条	<ul style="list-style-type: none"> ・点検の日付 ・点検の結果 ・整備概要 ・整備完了日 ・その他国土交通省令で定める事項 			
	年次検査(車検)		第58条	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年車検 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車車検証 		
	整備管理者の選任		第50・52条	<ul style="list-style-type: none"> ・2年に1回の講習受講 	<ul style="list-style-type: none"> ・運送事業に携わる営業所 毎に各選任1名 		
大野城市 自然環境保護条例			第7条	<ul style="list-style-type: none"> ・水源地区及び良好な自然環境を確保 する為、特に保護することが必要な区域 		良	2024年 12月20日
フロン抑制規制法(改 正フロン法)	平成27年4月1日施行 業務用エアコン、冷凍冷蔵機器 の管理者(使用者)		法第5条 法第16条 経済産業省・告示第13号	<ul style="list-style-type: none"> 指定製品及び特定製品の管理者の責務。当該特定 製品に使用されるフロン類の適正化に努める。 ・第1種特定製品のそばに著しい振動を発生する機械等を置かない。 点検・修理するスペースを空けておく。 ・全ての第1種特定製品について簡易点検を3月に1回以上実施 ・7.5Kw～50Kw未満は、定期点検(知見を有するものが実施)を3年に 1回以上。1000t-CO2以上の漏洩は届け出が必要。 ・点検の記録及び引取証明書は、機器を設置してから廃棄したあとも 3年間保存しておく。 ・廃棄物・リサイクル業者に機器を引き渡す時は、引取証明書の写しを作成し 機器と一緒に、渡す。 		良	2024年 12月20日 
浄化槽法	対象物:浄化槽 適用部門:基山営業所	佐賀県知事	第11条	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年1回定期的に受ける検査で、保守点検や清掃が適正に実施され、機能が十分 に発揮されているかどうかを検査すること。 		良	2024年 12 月20日 

参考法規

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律
- ・H27年 4月 フロン排出抑制法が施行
- ・騒音規正法
- ・振動規正法
- ・悪臭防止法
- ・環境基本法
- ・水質汚濁防止法
- ・大気汚染防止法
- ・道路運送車両法
- ・自動車リサイクル法
- ・家電リサイクル法

【全体評価】

軽油がCO2排出量の93%を占めており、使用量が全体CO2排出量に大きく影響する。軽油量が減り、全体のCO2排出量は減少している。目標値を大きく上回る84%となっているが、その大きな要因は乗務員や仕事量の減少である。反面、燃費は悪化していることからCO2削減には貢献できていないと言いき、好ましいものではない。また、仕事量と比例しない指標で悪化している項目があり、工夫が必要と感じる。

ガソリン・軽油の補助金が縮小され、燃料費のコストが上昇している。燃費向上を図ることが、コスト削減に繋がり自分自身に還元される。マネージメントが環境問題への取組みとなる。

【見直し・指示事項】

<環境経営方針> 変更なし

<環境経営計画・目標>

1. CO2排出量削減

- (1) 購入電力 基山営業所BMの洗出し
夏場における定温倉庫の消費電力削減の工夫が必要。
- (2) 軽油使用量 変更なし
経過年数が多い車両の入替え検討
- (3) LPG使用量 変更なし
ガス湯沸器の使用方法を工夫

2.燃費向上 変更なし

燃費推移を掲示し、燃費向上を意識付け、燃費向上心をあおる
炎天下・極寒期でのアイドリングストップのルールを考える。

3.廃棄物削減 変更なし

顧客とDX化を進めることで紙使用やごみ排出の削減を図る。

4.水使用量削減 変更なし

5.環境負荷の低減 変更なし

事故が目標件数を大幅に超えている。安全教育・ドライバー教育で意識を高める。
確実な日常点検で予防整備
集約コピーで枚数を減らす。FAX書類はメールに変更する。

6.環境に配慮した活動 変更なし

現地視察を実施
整理(不要物の廃棄)で使いやすく・見やすく、無駄な物品を購入しない

<環境関連法規等> 変更なし

<実施体制> 変更なし